

## ***HTBasic 10 for Windows Rel.10.0.3***

(Release note : Readme.txt)

この資料は、HTBasic for Windows Release Notes Release 10.0のreadme.txtをベースにHTBasic for Windowsの新しい仕様/特長と改善ポイントをご紹介します。大きな変更点として、対応OSが、Windows XP / VISTA / 7 / 8となり、旧バージョンのインストールファイルが収録されなくなりました。

### 1. CD-ROMの収録内容の変更

自動的にインストールが始まらない場合、Setup.exe から開始することが出来ます。



Version 10.0.3

### 2. 10.0.3 での修正および補助情報

(この部分は、アイネット株式会社によって付け加えました)

#### (1) HTBasic for Windows 10 version 10.0.3

製品 H-WFO100/H-WLO100 には、次の CD が付いています。

- ①HTBasic for Windows 10 version 10.0.3 CD
- ②HTBasic for Windows 10 関連 CD-ROM

#### (2) インストールは、①の CD で行ってください。

“Setup.exe” をエクスプローラーから実行してください。  
インストールキーは、製品添付の番号を使用してください。

#### (3) 添付の「HTBasic for Windows 10 関連 CD-ROM」を、一部変更しました。 (以前は、10.0.0 ベース)

注) この CD は HTML 対応となっておりますが、“i2net\_HTBasic10\_0\_3 フォルダー内”に、関連情報並びにプログラムを収録します。

#### (4) HTBasic 開発バージョン 10.0.2 から 10.0.3 での機能追加/修正

- ①HTBasic のメニューバーから、Tools | BPLUS Screen Builder を選択することで、「BPLUS Screen Builder」を使用することができるようになりました。
- ②BPLUS の、日本語表示を使用すると文字カウントを誤って返していたウィジェットは、修正さ

れました。

STRING/LIST/COMBO/FILE は、正しく動作するようになりました。

注) "i2net\_DIALOGS.prg" を実行確認してください

(5) KLabel は正常に動作し、漢字ストロークフォントをサポートします。

"x:\i2net\_HTBasic10\_0\_3\klabel" にある「HTBkanji10.exe」を実行し、"unzip to" でインストール先フォルダーを設定してください。

説明は、HtbKanji10.pdf を参照ください。

注) デフォルトは "C:\Program Files\HTBwin10" です。

(6) TBasic のワークウインドウの設定は、

"x:\i2net\_HTBasic10\_0\_3\workwindow\HTBwWindow.prg"

を実行し、機能確認ができます。ここでの設定値をユーザープログラムに組み込むことで、HTBasic のワークウインドウのカスタマイズができます。

説明は、HTBwwwSet.pdf を参照ください。

### 3. 10.0.0 から 10.0.2 への修正/改善 :

- 1. Combo Widget 上にマウスを移動すると、プロセッサが 100% 使われえるようになっていたが、使わない様に修正。
- 2. Clock Widget は、日本語版 Windows において、午前/午後の表示を漢字標記から、AM/PM の英字表記に変更。
- 3. トランジェント・ウィジェットは、HTBasic のワークウインドウの境界の外側にも動かせるように変更。
- 4. ウィンドウ操作の Maximize(最大化)は、トランジェント・ウィジェットない限り、HTBasic のワークウインドウで動作します。
- 5. HTBasic の色は、対応する表示色で表示できるようになった。
- 6. HTBasic リセットユーティリティ (HTBasic Rest Utility) は、各国対応の Windows と互換性がとれる様になりました。
- 7. Windows のコントロールパネルの「プログラムの機能」において、HTBasic のインストール状況の「発行元」名の表示は、「TransEra」と正しく表示するように修正。
- 8. HTBasic と BasicPlus のいくつかの重要問題は、解決しました
  - 注) 10.0.2 において BasicPlus は、いくつかの DIALOG/WIDGET が日本語の扱いにおいて正しく結果を出しません。この対応は 10.0.3 以降での対応となります (i2net/2015.06.01)
- 8-1. プログラムを停止した時、フォーカスは Basic Plus Widgets と Dialogs に残るのではなく HTBasic ワークウインドウに戻るようにセットされます。
- 8-2. フォーカスは 2 つの Basic Plus ウィジェット間で同一の動作で戻ったり行ったりできます。
- 8-3. キーストロークは、Basic Plus ウィジェットがその時フォーカスをされていても、HTBasic ワークウインドウによって認識されます。
- 8-4. ウムラウト付文字は、スクリーンビルダーファイルを使用する時、正しく表示されます。
- 8-5. String Widget の Line Number アトリビュートは、Line Number によって定義された列を見えるように動かします。
- 8-6. Scrollbars アトリビュートが "True" に設定された時、String Widget のスクロールバーは正しく表示されます。
- 8-7. 文字を完全には表示していない軸ラベルがあり、Number Format が機能しない、XY Graph widget に関する問題は、解決しました。

- 8-8. すべての標準的な各国対応版Windowsで、HTBasicのアイコンが正しく表示するようになりました。
  - 8-9. 他のラジオボタンが選択されたままであっても、ラジオボタンが選択されたままであった問題は解決しました。
  - 8-10. いくつかの Widgets と Dialogs のレイアウトに関する問題は、調整することで、解決しました。
  - 8-11. Bitmap Widget において、このウィジェットが壊れてしまった時でも、ファイル・ハンドルも閉じるようになりました。
  - 8-12. TOOLBARS はプログラム上で、隠すよう/隠さないようにした後で、正しい場所を返すようになりました。
  - 8-13 PUSHBUTTON ウィジェットは、白の境界線の代わりに透明視化され、フリック現象も解決しました。
  - 8-14. FOCUS アトリビュートは、STRING ウィジェットで使用できるようになりました。
  - 8-15. LPT ポート番号は、LPT1 の他、“2”以降の番号でも正しく動作するようになりました。
  - 8-16. 等しいか大きいまたは等しいか小さいとい諸条件を利用したグローバル・ブレイク・ポイントをセットしても、HTBasic はクラッシュしないようになりました。
  - 8-17. ウィジェットの中で、ユーザ設定システムメニューを使用する時、テキストは常に表示状態になります。
  - 8-18. Combobox ウィジェットが指定された通りの動作をしていなかった問題は解決しました。
  - 8-19. 各ウィジェットは、VISIBLE アトリビュートが“0”に設定されると、隠れ/表示されない前に、一時的に表示されてしまうことはなくなりました。
  - 8-20. 正しくフォーカスされていた時でも、メニューが他のウィジェットによって隠されていた問題は解決しました。
  - 8-21. トグル・ボタンは、指定通り動作するようになりました。
  - 8-22. Example フォルダの Basic Plus フォフォルダにある例題“Bomb Squad”は、動作するようになりました。
- 9. グラフィック・イメージ並びにプリント時にエッジが「ボケる」事はなくなりました。
- 10. SYSTEM\$ (“SERIAL NUMBER”)は、HTBasic をインストールしたときのキーが正しく表示されるようになりました。必要な時にアクセスできます。

#### 4. Version9.5 から 10.0.0 への機能拡張：

- (1) より操作画面の見え方や操作感といったルック&フィールも新しくなりました。多くの改善には、新しいウィンドウの表示・非表示方法を含め、新しいアイコンイメージでのツールバーの変更、メニューその他の変更を行なったユーザー・インターフェースとなりました。
- (2) HTBasic Plus は、よりよいパフォーマンスと機能追加ばかりでなく、ルック&フィールの感覚にあわせた斬新なダイアログとウェジットを使用したプログラムとして再開発を行ないました
- (3) HTBasic のヘルプ・ファイルは、HTBasic の新しい特徴と機能の全てを含むように変更し、Windows の新しいヘルプ・ファイル形式に変換しました。サンプル・プログラムとリンクはナビゲーションと検索機能と同時に変更・更新されました。

- (4) 新しい GPIB ドライバーは、TAMS 社の GPIB 製品を使用するために作成しました。このドライバーは HTBasic のメニュー・バーから Device Setup をを選択して構成できるとともに通常の HTBasic の I/O コマンドを使用して構成出来ます。
- (5) DLL ツールキットに2つの新たに DLL を追加しました。
  - ①HTBMessageBox DLL は、標準のメッセージ・ボックス・ボタンとアイコンを使用してつることが出来ます。
  - ②HTBoscope DLL は、グラフといくつかのカスタマイズ可能なボタンを持つダイアログで、簡単なオシロスコープを作ることが出来ます。

## 5. Version9.5 から 10.0.0 への修正/改善 :

- (1) ファイルを開くとき、正しく HTBasic Editor に移ります。これまでの HTBasic では時折ハングし、ユーザーがマニュアルで操作するまでエディット・モードになりませんでした。
- (2) WIN-PRINT のコントロール・レジスター 115 で、予期しない値が使われると、エラーが返されるようになりました。これまでの HTBasic では、予期せぬシャットダウンがありました。
- (3) REDIM を使用するとき発生していた、Error 16 は起こらないようにしました。
- (4) DUMP GRAPHICS を GIF ファイルをあて先にした場合におきていた、Out of memory は、起こらなくしました。
- (5) DUMP GRAPHICS は、要求どおり何回でも実行できます。これまでの HTBasic では 16 回目の後エラーが起きていました。
- (6) HTBasic のシャットダウンで適切にクリアされていなかった記憶域は、きれいにクリアされます
- (7) HTBasic 9.5 において速度低下を引き起こしていた Serial ドライバーは最適化されました。
- (8) コントロールレジスター 115 に数字を使用他特、WIN-PRINT ドライバーは、クラッシュすることはなくなりました。
- (9) DLL ToolkitにあるHTBDispは DLL を修正することによって変更されました。以前の問題のあった DLL は、参照されサンプルプログラムは動作しませんでした。

以上